



分園1歳児

# りすぐみだより



R3. 12. 1発行

カレンダーもあと一枚、今年も残り僅かとなってきました。

保育者や友だちと散歩や戸外に行くことを楽しみにしている、りすぐみの子どもたち。戸外へ行く前に、自分で靴下入れから靴下を取り出して、自分で履いてみる時間を設けていきました。最初は「あー」や「やって」など声をあげて、自分ではやらずに、保育者がやってくれるまで待っていることが多く見られました。保育者が靴下を、足の半分ぐらいまではかせて、「引っ張ってみてね」と伝え、自分で引っ張ってみようとしていました。上手く引っ張れず苦戦している子もいましたが、何度も繰り返し行っていくうちに、コツを掴んで自分で靴下を引っ張れるようになった子、指先まで靴下を入れてあげると自分でやろうとする子、自分で靴下を履けるようになった子もいます。その時の気分によって、出来たり出来なかつたりしていますが、自分でやろうとする姿を見守り、出来ない時にはさりげなく手伝いをするようにしています。

靴下同様に、給食時に食具を使って食べられるようになってきた子どもたち。食具を上手く持てるように、使えるようにと室内では指先遊びも多く取り入れました。指先を動かせば器用になるというイメージがありますが、実はそれだけではないのです。指先は「出ている脳」「第2の脳」と言われており、末梢神経が集中して指先を動かすことで脳に良い刺激を与えられると言われています。脳の働きである「言葉を操る力」「思考力」「記憶力」「運動能力」が活性化されるのです。また、手を動かす際には脳の「運動野」が使われており、運動野には物をつかむ、握るなどの簡単な動きの「古い運動野」、指を1本ずつ動かす、物をつまむ等の繊細な動きをする「新しい運動野」の2つの領域があります。この新しい運動野は発達が早く、2歳頃には大人とおなじくらいになると言われています。しかし指先を動かす為に玩具を買わなければ、作らなければと焦る必要はありません。日常で簡単に行うことができる遊びがたくさんあります。例えばお絵描きや粘土遊び。クレヨンや色鉛筆等で描くことは、指先を繊細に動かす、手や腕をコントロールする練習になります。粘土は掴む、丸める、伸ばす、ちぎるなど指先をフル活用する遊びです。自分の思ったとおりの形を作ることができるので、発想力や創造力を鍛えることもできます。物がなくても指を動かす、こぶしを握る、開く等の手遊び歌でも指先は発達します。コミュニケーション能力やリズム感も身につくこともできます。他にもいろんな遊びで指先を使う場面はたくさんあります。ご家庭でもぜひお子さんと一緒に行ってみてください！

☆ 今月のねらい ☆

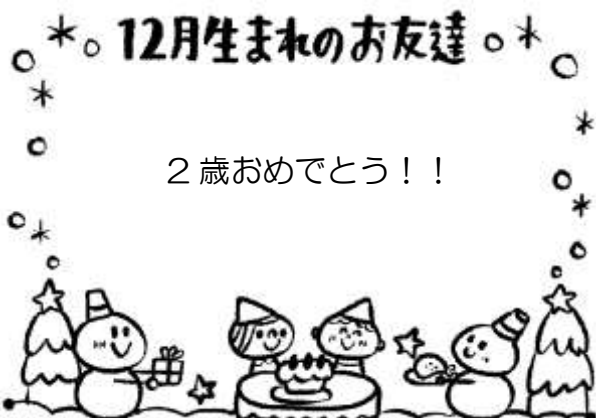
- ・連絡帳・コップを自分で出して所定の場所に置く。
- ・暖かい日は戸外に出て体を動かす。

☆ 今月の活動予定 ☆

- ・散歩（徳丸公園、そよかぜ公園、本町公園など）
- ・製作 ・巧技台遊び ・指先遊び ・クリスマス会 ・本園交流 など

～お支度頑張ってるよ！～

11月から登園したら、自分のカバンからコップを出して、身の回りの支度をはじめました。最初はコップ袋を引っ張ることに苦戦している子もいましたが、何度も行っていくうちに、自分で出来るようになり、嬉しそうにしています。今後は連絡帳も出してもらおう予定です。



＊。12月生まれのお友達。＊

2歳おめでとう！！